

問1	兵庫県神戸市と淡路島を結ぶ世界最大級の吊橋である明石海峡大橋の開通によって、徳島県と関西圏の間の交通は劇的に変化しました。この橋が1998年に開通した後の統計で見られる、正しい変化を選びなさい。 （2024年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 淡路島を経由する鉄道が開通したため、大阪方面への通勤・通学者の輸送人数が増加した。	2. トラック輸送のコストが上昇したため、貨物船による物資の輸送人数が大幅に増加した。	3. 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。	4. 神戸・徳島間のフェリーの所要時間が短縮されたことにより、旅客船の輸送人数が過去最高を記録した。
問2	日本の諸地域の降水量に関する統計において、中国地方の日本海側に位置する鳥取市や、四国地方の太平洋側に位置する高知市と比較したとき、瀬戸内海に位置する小豆島の降水量の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 （2022年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 周囲を山地に囲まれた地形で季節風の影響を受けにくい、他の2地点に比べて年間降水量が大幅に少ない。	2. 冬の季節風が中国山地を越えて吹き込むため、鳥取市と同様に冬の時期の降水量が最も多くなる。	3. 梅雨や秋雨の影響を強く受けるため、年間降水量は他の2地点と同程度の約2000mm以上に達する。	4. 台風の通り道となる地理的条件から、高知市と同様に夏から秋にかけての降水量が非常に多い。
問3	中国地方に位置する5つの県のうち、県名と県庁所在地名が異なる唯一の県について、その県名と県庁所在地名の正しい組み合わせを選びなさい。 （2019年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 山口県 ― 下関市	2. 岡山県 ― 倉敷市	3. 鳥取県 ― 米子市	4. 島根県 ― 松江市
問4	2016年の香川県における外国人延べ宿泊者数は約25万人を記録し、2012年から4年間で大幅な伸びを見せました。この期間の動向や統計の詳細について述べた文として、適切なものを選択してください。 （2018年 香川県公立入試 類似）			
	1. 延べ宿泊者数は増加しているが、その構成比では欧米諸国が台湾や韓国を上回っている。	2. 2016年の宿泊者数は2012年の3倍以下に抑えられており、特定の地域に偏らないバランスの良い増加となっている。	3. 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。	4. 宿泊者数は急増しているが、宿泊日数で見ると1人あたりの平均宿泊数は全国平均を大きく下回っている。
問5	多くの都道府県でなすの出荷量が増加する夏から秋にかけては、市場におけるなすの平均価格が下落する傾向にあります。これに対し、高知県は冬から春にかけての出荷量を大幅に増やす戦略をとっていますが、その目的として最も適切な説明はどれですか。 （2025年 三重県公立入試 類似）			
	1. 他の産地の出荷が少なく市場価格が高騰する時期を狙い、高い利益を得るため	2. 近隣の消費地への輸送コストを削減し、安価で新鮮な野菜を大量に供給するため	3. 冬から春にかけての冷涼な気候を好む特定の品種を、大規模に栽培するため	4. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるため、収穫時期を半年遅らせるため
問6	愛媛県南西部の坂下津から戎ヶ鼻にかけてのように、リアス海岸が広がる地域では海岸のすぐ近くまで山が迫っています。このような地形的制約がある中で、この地域の斜面で広く行われている農業の特色について述べたものはどれですか。 （2020年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。	2. 土砂が堆積してできた平坦な土地を利用して、大規模な機械化による小麦の栽培が行われている。	3. 冷涼な気候を活かし、山の斜面を牧草地として利用した乳牛の放牧が行われている。	4. 海岸沿いに広がる砂丘を利用して、スプリンクラーを用いたらっきょうやスイカの栽培が行われている。
問7	2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県（22,047）、広島県（18,155）、香川県（12,269）となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。 （2024年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。	2. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダム の代わりとして整備されたため。	3. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。	4. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。
問8	中国地方の各県における工業の特徴を説明した次の文のうち、統計的な傾向と一致する正しい説明はどれですか。なお、統計上、山口県は化学工業の産出額が約1兆9791億円と非常に大きく、島根県は化学工業（約333億円）や輸送用機械工業（約839億円）に比べて鉄鋼業（約1675億円）の産出額が多くなっています。 （2024年 三重県公立入試 類似）			
	1. 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。	2. 島根県は輸送用機械工業の産出額が中国地方で最も多く、広島県は化学工業が産業の中心となっている。	3. 広島県、山口県、島根県の3県は、いずれも輸送用機械工業が県内産出額の第1位を占めている。	4. 山口県は鉄鋼業の産出額が県内で最も多く、島根県は石油化学コンビナートが集中する化学工業の拠点となっている。
問9	1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 （2020年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと	2. 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	3. 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと	4. 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと
問10	高知県の平野部では、黒潮の影響による温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用し、ナスやピーマンなどの作物の成長を早める工夫が行われています。このように、他の産地からの出荷が少ない時期を狙って、出荷時期を意図的に早める栽培方法を何といいますか。 （2019年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 露地栽培	2. 近郊農業	3. 抑制栽培	4. 促成栽培
問11	ある地点の気候統計において、1月の降水量が約30mm、7月の降水量が約180mm、年間降水量が約1100mmという、周辺の地域と比較しても際立って降水量が少ない数値が記録されています。この統計に合致する地域の気候区分とその特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。 （2025年 愛知県公立入試 類似）			
	1. 冬の季節風の影響で1月の降水量（降雪量）が多くなる、日本海側の気候	2. 中国山地と四国山地の間に位置する、瀬戸内の気候	3. 梅雨や台風の影響をほとんど受けて、年間を通じて気温が低い、北海道の気候	4. 夏に南東の季節風や台風の影響で降水量が多くなる、太平洋側の気候

答え合わせ・解説

問1	答え 3 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。	本州四国連絡橋の神戸・鳴門ルートが完成したことにより、徳島県と関西方面の移動は自動車やバスが中心となりました。開通以前の1997年までは年間200万人以上いた海上交通の利用者は、開通の翌年以降に急激に減少し、2000年代には50万人を割り込む水準まで落ち込んでいます。これは、陸路の整備が既存の海上交通網に与えた影響の大きさを明確に示しています。
問2	答え 1 周囲を山地に囲まれた地形で季節風の影響を受けにくい、他の2地点に比べて年間降水量が大幅に少ない。	瀬戸内地方にある小豆島は、年間降水量が約1000mm程度と、日本の平均的な降水量と比べても非常に少ないのが特徴である。これは、北の中国山地と南の四国山地が障壁となり、雨をもたらす季節風を遮るためである。日本海側の鳥取市は冬の降水、太平洋側の高知市は夏から秋にかけての降水が多く、年間降水量は小豆島よりもはるかに多くなる。
問3	答え 4 島根県 ― 松江市	中国地方で県名と県庁所在地名が異なるのは島根県だけです。島根県の県庁所在地は松江市です。鳥取県（鳥取市）、岡山県（岡山市）、広島県（広島市）、山口県（山口市）はすべて県名と同じ名称の市に県庁が置かれています。選択肢にある米子市や下関市、倉敷市は各県の主要な都市ですが、県庁所在地ではありません。
問4	答え 3 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。	香川県における外国人延べ宿泊者数は2012年から2016年にかけて3倍を超える非常に高い伸び率を記録しており、統計資料でも「急増」として示されています。この成長を牽引しているのはアジア圏からの観光客であり、特に2016年時点で全体の26.5%を占める台湾の影響が顕著です。宿泊者数が3倍以下であるという理解や、欧米諸国がアジア圏を上回っているという記述は、当時の統計データとは異なります。
問5	答え 1 他の産地の出荷が少なく市場価格が高騰する時期を狙い、高い利益を得るため	野菜の市場価格は、需要と供給のバランスによって決まります。なすの出荷量が全国的に減少する冬から春の時期は、供給が不足するため1キログラムあたりの平均価格が上昇します。高知県はこの時期に合わせた出荷を行うことで、高い販売価格を維持し、農業の収益性を高める戦略をとっています。これは温暖な気候とビニールハウスなどの施設を組み合わせた生産体制によって実現されています。
問6	答え 1 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。	リアス海岸付近は平地が非常に少ないため、人々は山が海に落ち込む急斜面を切り拓いて段々畑を作り、土地を有効活用してきました。温暖な気候に加え、海からの反射光や水はけの良さが果樹栽培に適しているため、みかんを中心としたかんきつ類の栽培（果樹園）が盛んです。地形図においても、海岸線から山側にかけて果樹園の地図記号が密集している様子が見て取れます。
問7	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。	瀬戸内海に面した兵庫県、広島県、香川県などは、中国山地や四国山地に阻まれて雨が少なく「瀬戸内の気候」に属しています。特に稲作が盛んな地域では、夏場の水不足が深刻な問題となるため、古くから雨水を蓄えておく「ため池」が数多く作られ、農業用水として利用されてきました。
問8	答え 1 広島県は輸送用機械工業、山口県は化学工業、島根県は鉄鋼業の産出額が、それぞれの県内で主要な位置を占めている。	中国地方の工業は県ごとに特色があり、広島県はマツダなどに代表される輸送用機械、瀬戸内工業地域に属する山口県は石油化学、島根県は古くからの「たたら製鉄」の流れを汲む特殊鋼などの鉄鋼業が、統計上の特徴として表れます。各県の主要産業を正しく把握することが重要です。
問9	答え 2 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問10	答え 4 促成栽培	高知県の宮崎平野などで盛んなこの方法は、温暖な気候を活かして冬から春にかけて野菜を出荷するものです。他の産地の商品が市場に出回っていない時期に供給することで、農産物を高い価格で販売し、収益を上げる狙いがあります。対照的な言葉として、涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる「抑制栽培」があります。
問11	答え 2 中国山地と四国山地の間に位置する、瀬戸内の気候	日本の年間平均降水量は約1700mm程度ですが、瀬戸内地方の岡山県などは年間降水量が1000mm～1200mm程度と、国内でも特に雨が少ない地域です。資料に示された「1月の降水量が極端に少ない（冬の乾燥）」かつ「年間降水量が約1100mmと非常に低い」というデータは、二つの山地に挟まれて季節風の影響を受けにくい瀬戸内の気候の典型的な数値を示しています。